



啐啄同時

校長 作田潤一

キンモクセイの香りが漂うさわやかな朝。美しいハーモニーが校内に響いています。合唱コンクールに向けた学級毎の自主練習の歌声です。

聞こえてくる歌声に「もっと上手になりたい」「聞いている人に感動を与えたい」という生徒たちの願いが込められているのを感じます。合唱に限らず、「もっと〇〇したい(なりたい)」との意欲が表情や態度に表れたときに、親や教師の助言や励ましになる一言が、子ども達をぐんと成長させることが多くあります。

そのような関係を禅語では「啐啄同時(そったくどうじ)」と言います。「啐(そつ)」とは、卵の中の雛が「もうすぐ生まれるよ」と内側から殻をつつくこと。「啄(たく)」とは、そんな卵の変化に気づいた親鳥が、「ここから出てきなさい」と外側から殻をつつくこと。雛が卵を破るためには、雛と親鳥の殻をつつくタイミングがちょうど同じでなければならないとの意味です。大切なのは、子どもがあと一步で殻を破ることができることを見逃さず、どこを破ればいいのかをそっと示して、その成長を促してあげることだと言えます。それには、子どもをよく見る眼が大切で、音なき「啐」を感じ取る知覚が欠かせません。

合唱だけでなく、劇、壁新聞等にも生徒は意欲的に取り組んでいます。授業も、部活動も、駅伝も・・・家庭と学校が互いに察知した子ども達の心の動きを共有して、「啄」に努めたいと考えます。

～「やりましょうか」「ええ、やりましょう」
のハーモニー 愛と根気で夢を奏でる♪～

図書委員会による選書活動

「図書室に購入してほしい本のアンケート」の結果をもとに図書委員会のメンバー15名が、実際に書店で本を選ぶBook select(選書活動)を蔦屋書店イオンモール店のご協力で実施しました。話題の新刊や人気シリーズ、学習に役立つ本など、協力してバランスよく選ぶことができました。副委員長の奥村莉音さんは「3回目の参加になりますが、今年も様々な本と出会うことができました。昨年よりスムーズに選書活動が進み、楽しく活動することができてよかったです。今年は168冊の本を購入することができました。図書室に並ぶのを楽しみにしててください。」と感想を語ってくれました。



壁新聞作成-学習成果発表会に向けて

学習成果発表会での発表に向けて、全学年が総合的な学習の時間の探究内容を壁新聞の形式でまとめています。事前に熊本日日新聞社の方を講師としてお招きし、新聞講座を実施しました。講座では記事を書くときのポイントや紙面のレイアウトなどについて詳しく説明していただきました。また、各学年で調べ学習を実施し、記事の材料を集めています。中でも3年生は、実際に御船町役場へ赴き、藤木町長や役場職員の方へのインタビューを行いました。御船町の魅力や課題、防災の取組について話を聞くことで、これからの御船町やこれからの私達の生き方について考える機会になりました。



学力向上タイム

学校教育目標達成のための総合計画「令和4年度 For the future プラン」の大きな柱に「学力向上」があります。その取組のひとつとして「学力向上タイム」があります。学力向上タイムは生徒が夢の実現に向けて、仲間と共に努力し、学力を向上させることを目的としています。内容は大きく次の2つです。



①定期テストや学力調査等に向けた自学・学習タイム
②漢字・計算・英単語オリンピック(2学期実施予定)
定期テストに向けた学力向上タイムでは目標設定や計画の作成をしたり、自分のわからないところを先生や友達に質問したり、間違えた箇所を繰り返し学習したりしています。2年生の生徒は「みんなで取り組むとやる気が出ます。目標が達成できるようにこれからもがんばりたいです。」と話していました。

全国学力・学習状況調査結果の概要

- ◇学力調査
国語は全国平均正答率と同じです。数学と理科は全国平均正答率にわずかに達していません。
- ◇質問紙調査【全国平均を5%以上上回った項目】
 - 国語・数学・理科の勉強が好きだ、よくわかる。
 - 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
 - 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
 - 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

御船中、県中体連陸上競技大会でも活躍

- 1位
代表走幅跳：中村公亮くん、2年100m：飯田琴心さん
- 3位
低学年4×100mリレー：柄本さん飯田さん佐方さん坂田さん

